

Lactobacillus

科学者が1つの属を
25の属に再分類

属の大変革

Lactobacillus属は250以上の菌種から構成されていました。最新のDNA配列に基づいた解析によって、これまで歴史的にLactobacillus属として分類された菌種が遺伝学的に多様で、命名法に則っていないことが判明しました。最新鋭の手法を用いて、各国の研究者たちが協力し、生理学的及び代謝的な特徴に基づいて、Lactobacillus属の中の近縁種を新たな属名のグループに分割しました。

プロバイオティクスに用いられる代表的なLactobacillus属の菌種の新しい名称

現在の名称	新しい名称
<i>Lactobacillus casei</i>	<i>Lacticaseibacillus casei</i>
<i>Lactobacillus paracasei</i>	<i>Lacticaseibacillus paracasei</i>
<i>Lactobacillus rhamnosus</i>	<i>Lacticaseibacillus rhamnosus</i>
<i>Lactobacillus plantarum</i>	<i>Lactiplantibacillus plantarum</i>
<i>Lactobacillus brevis</i>	<i>Levilactobacillus brevis</i>
<i>Lactobacillus salivarius</i>	<i>Ligilactobacillus salivarius</i>
<i>Lactobacillus fermentum</i>	<i>Limosilactobacillus fermentum</i>
<i>Lactobacillus reuteri</i>	<i>Limosilactobacillus reuteri</i>

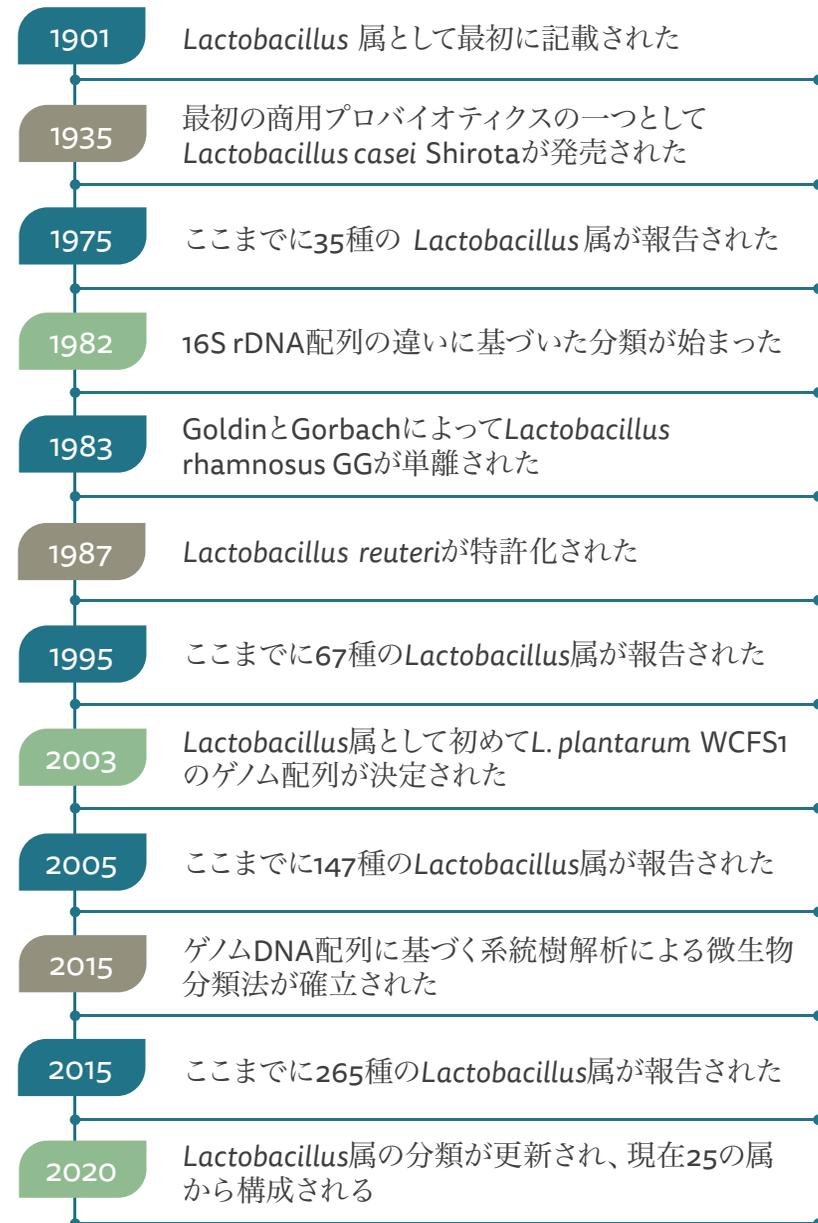
これらのLactobacillus属の種には名称の変更はありません

- *Lactobacillus acidophilus*
- *Lactobacillus delbrueckii* subsp. *bulgaricus* (別名 *Lactobacillus bulgaricus*)
- *Lactobacillus crispatus*
- *Lactobacillus gasseri*
- *Lactobacillus johnsonii*
- *Lactobacillus helveticus*

新たな属名は全て“L”で始まるため、属/菌種の略称(例: *L. rhamnosus*)は従来通りになります。菌種名と菌株の名称には変更はありません。

新分類では、より近縁な種が同じ属に分類されるため、(同属内で生理学的特性を共有する可能性が高く、)プロバイオティクスとしての健康有益性の機序の解明の一助となるかもしれません。

Lactobacillus 属年表



Lactobacillus属に関する新情報はこちらから：
<http://lactobacillus.uantwerpen.be>

今回の変更による研究者への影響は？

- *Lactobacillus*属の菌株に関する新規の刊行物では新分類を用いる必要があります。編集者や査読者に対して、今回の変更について簡潔に説明する必要があります。
- ある菌株について学術文献を検索する際、従来の属名と新たな属名の両方で検索する必要性が出てくるでしょう。

今回の*Lactobacillus*属の分類の変更に関してはこちらの文献に記述されています：
Zheng et al. 2020. A taxonomic note on the genus *Lactobacillus*: Description of 23 novel genera, emended description of the genus *Lactobacillus* Beijerinck 1901, and union of *Lactobacillaceae* and *Leuconostocaceae*. IJSEM. <https://doi.org/10.1099/ijsem.0.004107>



詳細については ISAPPscience.org を参照するか、Twitter [@ISAPPscience](https://twitter.com/ISAPPscience) をご覧ください。